支えてくれた方々に感謝を込めて

祝った直会の様子をご紹介します。

福智で初の蔵開きが行われました。

天郷醸造所で新たな「挑戦」が始動。

この日を迎えた感謝を込めて

特集「挑戦 | 福智の未来を切り拓くために―











はこの日を記念に特製上

一野焼お猪

上野焼限定ボト

ルの限定販売、

たことを祝った直会。

初蔵開きで

の感謝とこの日を無事に迎えられ

くださったかたがたに、

これまで

行われました。この挑戦を支えて

一醸造所の初蔵開きが11月23日に

の挑戦を始めて2年。

ついに天

2023年12月に福智町ととも

「クラフトサケ醸造所誘致事業」



みを生かしたお酒を堪能しました。 な空間で福智町の豊かな自然と恵

したまちづくりへの「挑戦」を新た

魅力を生かし、

地域活性化を目指

この日、

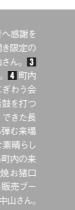
天郷醸造所は福智町の

500人は、

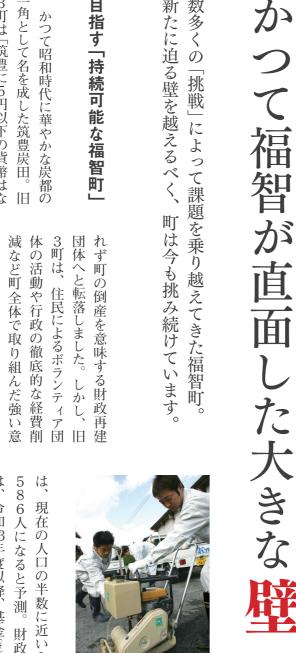
普段味わえない優雅

る雅楽の生演奏など、来場者約

山さんの弟・中山啓さんらによ

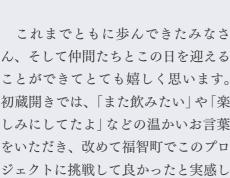


者。9 蔵開き限定の上野焼お猪口 反売する本村さん。10 自ら販売ブー へと立ち、お酒を販売する中山さん。



↑財政再建のため、職員の手で道 路補修を行う姿は注目を浴びた。

ひとりが今迫る大きな壁を乗り越 な福智町のあるべき姿」を示すこと り崩すしかない将来が想定される 令和12年度までに「持続可能 基金(※)を取 私たち一人 財政面で 1 2, ※基金:特定の目的のために使う資金のこと、家計でいう貯蓄。



伝統的酒造りを受け継ぎお酒と故郷の 魅力を世界へと広げていきたいです。

ています。そして、蔵開きを通じて、 みなさんが天郷醸造所のお酒に込めて いる期待や希望も感じました。そんな 思いを裏切らないよう、これからも仲 間たちと切磋琢磨しながら日本が誇る

Interview 天郷醸造所 代表取締役 中山 雄介さん

3 | FUKUCHI

路を見出すため、 業を模索しますが、

社会保障・

関しては今後も減少が続き、 町の課題は多岐にわたり、

2F(2050年)の人口・人口問題研究所が推計今後も減少が続き、国立は多明にオテー

えるため、

町の課題に向き合

と閉鎖。その後、

旧3町は新たな活 炭鉱にかわる産 成果を上げら

石炭から石油と転換し、炭鉱は次々

炭鉱町でした。しかし、

昭和40年

『後半から、

産業用のエネルギーは

のため、

市町村合併。

今もなお、 人口に

が急務となっています。

平成18年に、

旧3町は財政再建

3町は「筑豊に5円以下の貨幣はな

志によって計画より早く再建団体

586人になると予測。

現在の一

人口の半数に近い

令和13年度以降、

を脱却することができました。

」と言われるほどの好景気に湧く

角として名を成した筑豊炭田。

かつて昭和時代に華やかな炭都の

目指す「持続可能な福智町」

新たに迫る壁を越えるべく、

数多くの「挑戦」によって課題を乗り越えてきた福智町。